

# 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道229号 積丹防災	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道余市郡余市町字白岩 至：北海道古宇郡泊村茅沼	延長	22.6 km		
事業概要 一般国道229号は、小樽市を起点とし江差町に至る延長287kmの幹線道路である。当該事業は、積丹半島地域において、防災点検要対策箇所及び通行規制区間を解消し、緊急輸送道路の物流・生活道路として機能確保を図る延長22.6kmの防災対策事業である。					
H元年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H2年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	約1,151億円	事業進捗率	76%	供用済延長	13.2 km
計画交通量	7,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C! (事業全体) 1.4 (残事業) 7.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 173/973億円 事業費：173/973億円 維持管理費：0/0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,367/1,394億円 走行時間短縮便益：1,183/1,204億円 走行費用減少便益：161/167億円 交通事故減少便益：23/23億円	基準年 平成15年	
感度分析の結果 全体事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.6(交通量+10%) B/C=1.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.4(事業費+10%) B/C=1.5(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.3(事業期間+20%) B/C=1.6(事業期間-20%)					
事業の効果等 ・災害への備え(現道等の防災点検要対策箇所を解消する) ・国土・地域ネットワークの構築(大型車すれ違い困難区間を解消する) 他10項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 効率的な地域間交流網整備として防災対策・交通安全対策を行うことが期待されており、余市町など1市8町2村の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 豊浜トンネル岩盤崩落後の平成8年度防災総点検により、対策箇所が増加している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度末までに13.2kmが整備済みとなっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地取得が順調に進めば平成19年度までに完了する予定である。					
施設の構造や工法の変更等 埋設ジョイント工法の適用、消波ブロックの再利用、近接工事の吹きつけプラントの共有及び三層緩衝工の採用などのコスト縮減を図っている。					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図 					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。